

# 2016年度 FD研修会 \* アンケート集計結果 \*

## ◆開催内容

日 時 : 2016 (平成28) 年7月8日 (金) 16:50~18:20  
 場 所 : 京都ノートルダム女子大学 ユージニア館3階 大講義室  
 テーマ1 : 「授業以外の学修時間の確保について」  
 テーマ2 : 「今後の授業評価アンケートのあり方について」

## ◆アンケート集計結果

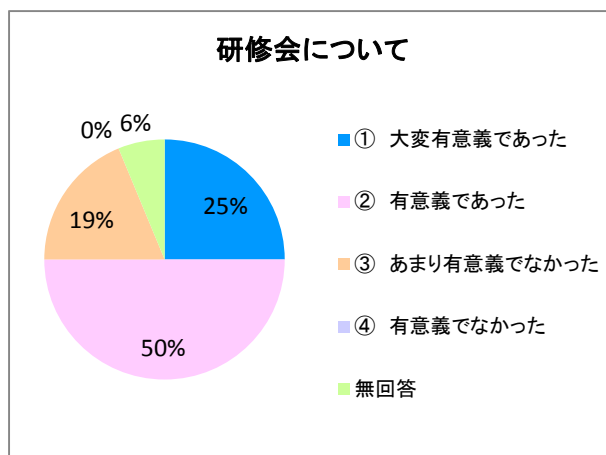
参加者数 26名  
 回収数 19部 (回収率61.5%)

### 問1 所属について

所 属	人数	割合
① 英語英文学科	3	18.8%
② 人間文化学科	1	6.3%
③ 生活福祉文化学部	7	43.8%
④ 心理学部	4	25.0%
⑤ 副学長	0	0.0%
⑥ 職員	1	6.3%
無回答	0	0.0%
合 計	16	100.0%

### 問2 研修会について

選択肢	人数	割合
① 大変有意義であった	4	25.0%
② 有意義であった	8	50.0%
③ あまり有意義でなかった	3	18.8%
④ 有意義でなかった	0	0.0%
無回答	1	6.3%
合 計	16	100.0%



### 問3 今回のFD研修会全般について、ご意見・ご感想をご自由にお書きください。

1	今後の指導に役立つ議論ができ、有意義でした。	教員
2	あまり新しいアイデアがなかった。	教員
3	不足していること、やらねばならないこと皆様ほぼわかっていることが確認できた。授業外の学修時間の増大のために現状を続けていきたい。	教員
4	シンプルでよかったです。	教員
5	学部の先生それぞれが、学修時間の創出について工夫されていることがわかった。課題や予習、復習を他の授業時間中に内職してやっている、そのために授業外学習時間がないという”からくり”を知ってしまった。	教員
6	どの学科、どの教員も似たようなことを考えているのだなーと思いました。	教員
8	意見を交わしながら会を進めていく方式はよい。しかし、タイムスケジュールをしっかり守り、時間通りに終わることができていない。時間内で進めることはできて当たり前である。	教員
9	学修時間を確保するにはどうしたらよいか、担当している授業で改善すべきことを考えることができました。各学科の現状や工夫している点が分かり勉強になりました。	教員

10	同じ学部以外の先生の工夫を聞くことができ、とても参考になりました。他授業での学生の様子も情報共有ができ、有意義でした。ありがとうございました。	教員
11	授業外の学修時間確保について、以前より問題となっているが、他の授業で宿題をやっていることがわかりショックを受けた。また、学生に書かせているQ10のシートの「0」をなくしたら、もう少し時間が増える(?)かと思う。設問も、「一週間あたり」を( )でくって文章の最後につけたらどうですか？	教員
12	いろいろな意見が聞けて楽しかったです。	教員
13	なかなか難しいテーマであったが、考えるよい機会となりました。	教員
14	課題が難しいものでしたが、いろいろ意見が聞けて良かった。自分だけの悩みではないとわかった。	教員
16	単位の実質化について、教務課長からわかりやすい説明があつてよかった。	職員

問4 年度末に実施予定の「全学FD教員研修会2016」で取り上げてほしい内容やテーマがありましたら、ご記入ください。

3	授業評価アンケートのより意味のある実施方法を検討してほしい。	教員
12	アクティブラーニングをもっと知りたいです。	教員
13	アクティブラーニングの実際について(具体的な取組、交流)	教員
16	私学事業団の改革推進補助事業(?)で「教員の英語力向上」(英語で授業を提供できる教員)のためのFD研修を実施しているか問われるため(全学では難しいと思われるが)機会があれば実施していただきたい。	職員